



平素は当農協の事業全般にわたり、格別のご理解とご利用を賜り厚くお礼申し上げます。

この「ディスクロージャー誌」は、皆さまが安心して当農協をご利用いただけますよう業務内容をまとめた情報開示誌です。是非ご一読いただき、当農協への関心とご理解を深めて頂ければ幸いです。

さて、平成27年度のりんごにつきましては、概ね平年より9日、昨年より5日ほど早い開花となり、その後の順調な生育により入庫数量は過去2番目の321万箱と大きく計画を上回りましたが、収穫を間近に控えた10月、爆弾低気圧と台風23号による強風被害で、当農協へも被害果6万箱が入庫されました。被害に遭われた組合員の皆様には、心からお見

舞い申し上げますとともに、各品種の精算時には冷蔵料軽減助成を実施したことをご報告いたします。販売環境は、味の良さと過去最高の輸出量に支えられ堅調であり、当農協でも5年ぶりに日本産りんごの輸入解禁をしたベトナムへの輸出を行うなど、将来の主要輸出先の確保も含め、高精算へ向けて気を緩めることなく販売に努めてきました。

米については、昨年に引き続き豊作基調で津軽地域の作況指数が105の「やや良」となったことから、26年産のような安値を危惧しましたが、全国的に堅調な販売となっていることについては安堵しております。さらに、県内初の特A米として華々しくデビューしました新品種「青天の霹靂」は、県の宣伝効果により知名度も向上しており、稲作農家にとって励みになるものと大いに期待をしているところです。

やさい・特産果樹等についても、出荷数量・販売金額ともに概ね前年実績を上回る結果となったことから、農産物の総販売額では過去最高の180億円となりました。とりわけ、りんごは昨年を約17億円も上回り、過去最高の158億円となっております。

このような状況の中、平成27年度決算は、りんご入庫数量の増加や各事業の順調な実績により、事業総利益で計画を約3億1,600万円上回る35億1,100万円となり、当期剰余金は5億3,400万円と計画を約2億8,000万円も上回ることができました。これもひとえに、組合員の皆様のご理解とご利用の賜物であると重ねてお礼申し上げます。

結びに、いかに厳しい状況になろうとも、農家組合員の声を聴き、信頼される「つがる弘前農協」とするため、日々の研鑽を惜しまず役職員一同総力を挙げて取り組んでまいり所存ですので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげ、ごあいさつといたします。

つがる弘前農業協同組合  
代表理事組合長 工藤 文明

## 経営理念

地域農業を守り育み、地域と農業のかけはしとなり

地域社会のゆたかな<sup>あした</sup>未来へ貢献します。

「<sup>ひら</sup>拓き」「はぐくみ」地域の<sup>あした</sup>未来へ…

## 経営方針

1. 「一人は万人のために万人は一人のために」の協同組合精神に徹し、地域農業を守り発展させるため、地域社会に信頼される農業協同組合を目指します。
2. 農業を通じた社会貢献により、地域に親しまれ愛される農業協同組合を目指します。
3. 地域と農業のよりよい「共生環境」を創造し、地域社会の豊かな未来へむけ地域に協調した事業運営を目指します。
4. 役職員が一体となった事業運動を展開し、組合員に還元できる経営を目指します。

## 経営管理体制

当JAは農業者により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選出された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

また、信用事業については専任担当の理事を置くとともに、農業協同組合法第30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

## 事業の概況（平成27年度）

### ● 事業概況

世界経済は2014年以降、緩やかではあるものの回復の兆しを見せました。2015年の後半には、中国をはじめとした新興国の減速がみられたものの、アメリカをはじめヨーロッパ諸国では回復に向かいつつあります。原油価格下落については、需給バランスの崩れ、世界的な金融緩和による影響が指摘されています。こうした状況は、もうしばらく続くものと思われれます。

一方、日本国内に目を向けると、原油価格の下落により、個人消費が消費税率引き上げによる落ち込みから一定の回復をみせました。しかし、輸入に頼る食品については、原料価格の高騰により、相次いで値上げされ、個人消費を減速させる要因となり、回復しきれない状況が続いています。企業の動向としては、日銀によるゼロ金利政策が行われたものの、個人の住宅ローン同様に企業の設備投資も進んでいないのが現状です。

日本の農業情勢については、輸入食品の値上げにより、国産農産物の割安感も手伝って、農産物全体の価格は堅調に推移しました。しかし、九州地方の大雨をはじめとした日本各地の異常気象による影響で生産量が減少したことも高値基調の一つの要因であり、手放しで喜べるものではありませんでした。また、米については、平成26年度の米価急落により稲作からの転換や離農があり、米の生産量が減少し、平成27年度の米価は持ち直しを見せました。このことについても、根本的な米生産の問題の解決ではないことから、米の消費回復が求められます。生産資材では輸入に頼る商品で原料価格の高騰による値上げも見られ、厳しい状況が続いています。

事業収支の内容として、信用事業では地方公共団体の融資が大幅に減少したことから貸出金残高は減少したものの、金利上乘せ定期貯金をはじめ各種キャンペーンを実施した結果、計画を約2,000万円上回りました。共済事業においても、LAを中心に共済推進を実施した結果、計画を約4,000万円上回りました。経済事業では、先にも記載したとおり、平成27年度初めからの原油価格の下落によって低価格仕入れとなり、収益が増加したことで計画を約6,000万円上回る結果となりました。販売事業における各農産物の状況については、りんごでは、収穫期の強風による落果があったものの、概ね良好な生育となり、在庫数量は合併以来2番目に多い321万箱となりました。また、計画と比較した取扱実績では、米が112.5%、果樹が113.4%と上回りました。やさいと花きについては計画を下回りましたが、前年度の集荷実績と比較した場合は、ともに100%を上回っていることから、収量は概ね良好であったと言えます。

今年度も各事業ともに最大限経費を圧縮し、収益確保に努めてきた結果、当期剰余金は計画を大幅に上回る5億3,400万円を計上することができました。

## 事業の概況（平成27年度）

### ① 信用事業

#### 【貯金】

主要作物であるりんご生産量の増加と、前年に引き続き堅調な販売価格に伴い、組合員農家の個人貯金は増加傾向にありました。そうした中、県下10 J A統一による夏・冬の金利上乘せ定期貯金、さらには、当 J A 独自商品による「第2回特産品付き定期貯金（さと味ちゃん）」・「第2回宝くじ付き定期貯金（夢いぶき）」の取り組みは、組合員はもとより地域住民からの好評を得て、新規獲得に繋がりました。

この結果、貯金事業量では、計画対比104.3%、前年対比105.6%の実績となりました。

#### 【貸出金】

平成27年10月に発生した強風被害に伴い、農業経営の支援策として農業災害資金を発動しました。また、住宅ローンをはじめ、マイカーローン、教育ローンの金利軽減を図るなど、組合員融資の充実に努め、顧客基盤の拡大に取り組みしました。

特に、農業融資は堅調に推移し、ローン全体では前年の実績を上回ったものの、地方公共団体向け融資の大幅な減少により、貸付事業量では、計画対比95.4%、前年対比92.8%の実績となりました。

### ② 共済事業

3 Q 訪問活動を徹底し「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供を図り、多様化するニーズに対応した推進活動を展開してまいりましたが、計画対比97.2%の実績となりました。

しかし、昨今ニーズが高まっている生存保障分野では、介護共済が計画対比103.2%、年金共済が計画対比106.5%の実績となりました。

また、迅速・丁寧な自動車事故の対応に取り組んだ結果、お客様総合満足度が前年対比109.4%と向上しました。

### ③ 購買事業

#### 【生産資材】

農業資材について、取扱商品の種類を増やすことで組合員満足度の向上に取り組みしました。

また、前年に続き予約キャンペーンの実施で予約利用者の拡大を図りましたが、年度末実績で前年を下回りました。

この結果、生産資材全体では計画対比92.7%の取扱実績となりました。

#### 【生活資材】

「安全・安心」にこだわった商品提供、さらに組合員の利便性向上に繋がる取り組みとして、荷物発送の宅配取扱いは、前年実績から大幅に増加しました。

葬祭事業については、前年を上回る実績でしたがその他事業で前年を下回る取扱高となり、この結果、生活資材全体で計画対比97.3%の取扱実績となりました。

#### 【車輛・燃料】

農機具・自動車事業は、今年から展示会を2回開催し商品の P R 及び推進強化に努めた結果、農機具・自動車事業ともに計画を達成することができました。

また、燃料事業では、春先からの高温による灯油の使用量の落ち込み及び原油価格の下落による安値競争、並びに暖冬による使用量の落ち込みにより取扱量・取扱金額ともに計画を下回る結果となりました。

## 事業の概況（平成27年度）

### ④ 販売事業

#### 【りんご】

平成27年産りんごは春先から好天に恵まれ、ふじの開花は平年より9日早い5月1日となり、その後も順調に生育が進んだものの、収穫期に入った10月には2回にわたる強風により、管内全域のりんご園地で落果被害や樹上損傷果の発生が見られました。

入庫実績では、気象災害による被害を受けましたが、前年産を15万箱上回る321万箱と農協合併以来2番目に多い数量となりました。

被災されたりんご出荷者には、樹上損傷果や落果品の特別集荷を行い、最大限の支援対策を実施しました。

販売面では、早生種から「JAつがる弘前産」をアピールした消費宣伝活動を全国で展開し、消費拡大に努めました。中生種ではひろさきふじの高糖度品である「夢ひかり」を台湾へも輸出し、他の早生ふじとの差別化に努めました。トキについては、海外輸出は好調であったものの、品質面では総じて前年産を下回る内容であったため、次年産へ課題を残す結果となりました。晩生種については、強風被害による影響から下位等級品の発生比率が特に高いことで販売苦戦が想定されましたが、事前の産地からの情報発信や企画販売が功を奏し、上位等級品から下位等級品まで順調な販売となりました。「葉とらずふじ」については、高糖度・蜜入り品をプレミアムりんごとして積極的に売込みし、認知度アップと販路拡大に努めました。また、海外輸出については、台湾等のこれまでの出荷先のほかに、平成27年9月に日本産りんごの輸出が解禁されたベトナムへも出荷し、前年産を上回る実績となりました。

平成27年産りんご総体では、下位等級品の発生比率が高かったものの、食味の良さが消費者のリピート率向上に繋がり好調な販売となりました。

#### 【米】

平成27年産の稲作は、春先から好天に恵まれ、育苗期・田植え後の生育も良好でした。

その後、8月中旬から9月上旬まで日照不足となったものの、生育は順調に推移し、作況指数は青森県全体で「105」となりました。

当JAの独自米集荷数量は97,186俵で出荷申出数量比102.1%となりました。

また、新品種の青天の霹靂は、2,430俵の実績でした。

米を取り巻く環境は、全国的な需給緩和により国内在庫が軽減され、前年よりも荷動きが良く当JAの独自米も、県内外の量販店で消費宣伝を行い販売に努めました。

#### 【やさい・特産果樹・花き・花木】

平成27年産は、春先から気温が高めに推移したことから、やさい・特産果樹ともに生育が進み収穫も平年より早めとなりました。6月から8月中旬までは少雨による干ばつ傾向のために、やさいは生産量が伸びず、単価は維持出来たものの販売高は事業計画に届かない状況となりました。

特産果樹は生育の進みから、全体的に大玉傾向となり出荷数量・販売金額が増える結果となりました。特に桃に関しては、生産量が増えたことと、生育が進んだことによりお盆の需要期に収穫時期を迎えたことが、販売単価を押し上げる要因となりました。

出荷実績はやさいが前年対比106.6%、特産果樹が前年対比116.0%、花き・花木が前年対比109.0%となり、販売金額実績は前年対比111.4%、計画対比97.1%となりました。

### ⑤ 直販事業

平成27年産りんごの販売は、順調に推移しました。その中でも「蜜入りサンふじ」や、「葉とらずふじ」の取扱いについては前年実績を上回りました。また、下位等級品（格外品・加工）の販売も順調に推移し前年実績を大幅に上回りました。

平成27年産独自米の販売は、生協（共同購入）をはじめ、県内の食堂及び介護施設などに販売し、年間を通して安定した数量・価格で販売しました。また、県外販売については病院・学校給食などに納品している企業にも販売しました。

直売所では、食品衛生法をはじめ農薬取扱いに関わる研修を実施し、安全・安心な店舗づくりを目指すことを確認しました。また、りんご贈答需要期には平成26年度に「四季彩館」で実施したりんご対面販売コーナーを「かあさんの店」敷地にも設置し、前年に比べ4倍の売上実績を計上することが出来ました。



## 事業の概況（平成27年度）

### ⑥ 指導事業

#### 【営農指導】

りんごでは、消費者に選ばれる「おいしいりんご」づくりのため、セミナーの開催による樹の生理に基づいた品質向上対策や、熟度調査と気象データを組み合わせた適期収穫指導を徹底しました。

水稲では、地域ごとに気象観測に基づいた適期刈取指導を徹底し、品質の向上を図りました。また、本格的に作付けが始まった新品種「青天の霹靂」については、全量タンパク質含有率基準をクリアするために全筆巡回し、圃場ごとの状況に合わせたきめ細かな指導を実施しました。

水田農業関連では、経営所得安定対策及び収入減少影響緩和対策の周知・加入促進、稲作農業の体質強化緊急対策への取り組みなど、農業経営の安定化を図りました。

集落営農組織に対しては、持続可能な地域農業のために大豆・小麦の生産拡大と枝豆・にんにく・ジュース用トマトなどの普及拡大を行いました。また、新たに任意組織が1組織と複数組織が合併して農事組合法人が1つ設立されました。

地域営農ビジョンについては、これまで15の地域で策定されるなど、その運動に取り組んでおり、功績が認められJA全中が主催する平成27年度地域営農ビジョン全国推進大会において最高賞となる「地域営農ビジョン大賞」を受賞しました。

農業経営管理支援事業は、記帳代行システムを導入し、103名が利用しました。このシステムの利用により、40名が申告方法を白色から青色へ変更されました。

また、平成28年用の加入募集については、広報紙へのチラシ・ポスターの掲載、各支店で説明会等を開催し、候補者へ加入の呼びかけをした結果、新たに59名が加わり、システム加入利用者は、合計162名となりました。

#### 【生活指導】

食農教育活動「農業塾」では、管内6つの小学校と弘前市東部児童センターの児童を対象として野菜の作付から収穫、加工、調理などを女性部の協力を得ながら実施しました。また、今年度は組合員の圃場において、りんご・きゅうりの収穫体験を行いました。

健康管理活動では、血液検査・人間ドックにおいて若い世代の受診率が向上しました。

女性部活動では、前年に続いて役員・部員合同研修会を開催し、部員相互の親睦を深めました。

#### 【組織・広報活動】

農政対策委員会は、TPPや農協改革についての理解を深めてもらうために、冊子「TPP交渉・農協改革をもっとよく知ろう」「TPP交渉大筋合意～概要と今後の行方～」を発行し、組合員に配布しました。

農業後継者研修では第4期がスタートし、24名の研修生が営農、経営、一般教養などについて学習するなど、知識を深めました。また、第1期～第3期の農業後継者研修修了生による新たな組織「農修会」が発足し、3月上旬、役員が「葉とらずりんご」の認知度アップのために、関西圏のスーパーでPRを兼ねた販売会を行いました。

青年部は、初めて他県の青年部と交流会を実施し、さらには、青森県JA青年大会において最優秀賞を受賞するなど、活発に活動を展開しました。

広報誌「いぶき」では、営農と生活に役立つ迅速な情報の提供と、地域に密着した情報の発信に努めました。

## ● 事業活動トピックス

- H27. 04. 19 住宅ローン相談会（弘前中央）
- H27. 04. 30 J Aつがる弘前共済事業推進大会
- H27. 05. 17 住宅ローン相談会（弘前中央）
- H27. 06. 10 年金相談会（弘前支店）
- H27. 06. 16 年金相談会（薬師堂支店）
- H27. 06. 21 住宅ローン相談会（弘前中央）
- H27. 07. 27～29 貯金優待旅行
- H27. 09. 20～22 直売所秋彼岸セール
- H27. 09. 20 住宅ローン相談会
- H27. 09. 27 直売所十五夜セール
- H27. 10. 19 L A決起集会
- H27. 11. 02 青森県の食と農生活について話し合う集会
- H27. 12. 20 住宅ローン相談会
- H27. 12. 28～30 直売所年末セール
- H28. 01. 17 住宅ローン相談会
- H28. 02. 21 住宅ローン相談会
- H28. 03. 18～20 春特選フェア

## ● 農業振興活動

- H27. 05. 13 ねぎ栽培講習会
- H27. 05. 25 トマト栽培講習会
- H27. 05. 27 ぶどう栽培講習会
- H27. 06. 16 りんどう栽培講習会
- H27. 06. 17 嶽きみ全体集会
- H27. 06. 24 アスパラガス栽培講習会及び巡視会
- H27. 06. 26 プルーン摘果講習会
- H27. 07. 02 ミニトマト部会視察研修
- H27. 07. 08 シャインマスカット研修会
- H27. 07. 16 自然薯巡視会
- H27. 08. 03 嶽きみ現地検討会
- H27. 08. 06 ピーマン講習会
- H27. 08. 12 あぐりガールズひろさきと J A津軽みらい女子会合同視察研修会
- H27. 08. 20 アスパラガス部会講習会
- H27. 08. 21 青天の霹靂現地視察研修会
- H27. 10. 20～21 平成28年度防除暦作成並びに共計資材品目検討会
- H28. 02. 24～26 地域営農ビジョン全国推進大会
- H28. 03. 09 西目屋村村市地域「地域営農ビジョン」平成27年度第2回実践会議

## ● 地域貢献情報

- ・農業体験「キッズあぐりスクール」
- ・小学校等を対象とした農業体験の実施
- ・各地区、支店夏祭り
- ・農業後継者育成研修会
- ・高齢者福祉活動「ぬくもりホーム」の実施
- ・インターンシップ受入

# リスク管理の状況

## ● リスク管理体制

### 1. リスク管理の方針

金融の自由化・国際化の進展やIT技術の発展に伴うシステム化や高度化、デリバティブ商品の多様化等により、金融機関のビジネスチャンスは拡大する一方で、金融機関の抱えるリスクは一段と複雑化・多様化してきております。また、金融ビッグバンの進展により金融の自由化が本格化し、リスクを最小化するだけでは収益が望めない状況となっております。

このような中で、組合員・利用者の皆様の多様化・高度化するニーズに的確にお応えしつつ、安心して当JAをご利用いただくためには、適切にリスクを管理し、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。このため、当JAでは、発生率が高いと考えられる信用リスク、市場関連リスク、事務リスクを主として、管理体制の強化に努めております。

#### ① 信用リスク管理

貸出金や利息などの債権が回収不能となり被る損失である信用リスクは、貸出資産の健全性を維持するため専門部署である審査課を設置して審査体制の強化に努めております。

#### ② 市場リスク管理

資産（貸出金・有価証券）・負債（貯金）双方の金利変動に伴い被る損失である金利リスクは、余裕金運用会議（ALM委員会）において、運用、調達にかかるリスク管理に取り組み、健全な資産・負債のバランス向上に努めております。

#### ③ 事務リスク管理

事務上のミスや不正により被る損失である事務リスクは、内部牽制組織として監査部門を設置しており支店での事務指導や定期的な監査を実施しております。

また、事務の見直しや規程整備などを通してリスクの管理・強化に努めております。

#### ④ システムリスク管理

当JAにおける基幹業務勘定システムは、経済・管理系システムを県中央会、信用システムを県農協電算センター、共済システムを全共連へ委託し運営しております。従いまして、これらに係るシステムのダウン又は誤作動等により被るリスクについては、委託先の指示に基づいた対策により対応しております。

また、当JA内の情報系システムについては、安全かつ円滑な運用に努めるとともに、システムの万一の災害・障害等に備えた対策を講じております。

### 2. 審査体制

融資の取扱いについては、各支店窓口での受付から最終決定者まで稟議手続により判断する体制を採っております。事前審査を十分に行うとともに担保の徴求、保全、回収については、常に本店と支店が連携をはかりながら問題債権の早期解消等について、対策を講じております。

また、審査課では、審査体制の強化と窓口の審査能力向上に努めております。

### 3. ALM管理体制

資金調達面と運用面を総合的に管理するため、余裕金運用会議（ALM委員会）を定期的で開催し、金融情勢、金利、経済環境や資金動向の予測をもとに金利変動リスク等を回避するためのALM手法の充実とリスクヘッジ手法の活用により、財務の健全性維持と安定的収益確保に努めております。

## ● 法令遵守体制

### 1. コンプライアンス基本方針

利用者保護への社会的要請が高まっており、また最近の企業不祥事に対する社会の厳しい批判に鑑みれば組合員・利用者からの信頼を得るためには、法令等を遵守し、透明性の高い経営を行うことがますます重要になっております。

このため、コンプライアンス（法令等遵守）を経営の重要課題のひとつとして位置づけ、この徹底こそが不祥事を未然に防止し、ひいては組織の信頼性向上に繋がるとの観点にたち、コンプライアンスを重視した経営に取り組みます。

#### ◇ コンプライアンス運営態勢 ◇

当JAのコンプライアンス運営態勢は、統括部署を管理部内に置き、コンプライアンス・プログラムの実践、事故発生への対応・未然防止策の検討など、コンプライアンスに関する事項を一元的に管理・統括しております。また、コンプライアンス管理者を事業部長および地区部長・室長とし、コンプライアンスの遵守を念頭においた業務遂行とその遵守状況をチェックし、統括管理しております。

さらに、各部署および支店の管理・監督職をコンプライアンス担当者として位置づけ、日常業務における法令等遵守状況のチェック、コンプライアンスに関する職員からの相談等の対応などを通じ、第一線においてコンプライアンスの推進も含め徹底に努めております。

## リスク管理の状況

### 金融ADR制度への対応

#### 1. 苦情処理措置の内容

当JAでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容をホームページ・チラシ等で公表するとともに、JAバンク相談所やJA共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当JAの信用事業に関する苦情相談窓口は—最寄りの各支店または  
信用部金融課（電話：0172-28-1121（月～金 午前9時～午後4時））

共済事業に関する苦情相談窓口は—最寄りの各支店または  
共済部共済課（電話：0172-28-1120（月～金 午前8時30分～午後4時30分））

#### 2. 紛争解決措置の内容

当JAでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

##### ①信用事業

仙台弁護士会 紛争解決支援センター

1. の窓口または青森県JAバンク相談所（電話：017-729-8761）にお申し出ください。

##### ②共済事業

(社)日本共済協会 共済相談所（電話：03-5368-5757）

(財)自賠責保険・共済紛争処理機構（電話：本部03-5296-5031）

(財)日弁連交通事故相談センター（電話：本部03-3581-4724）

(財)交通事故紛争処理センター（電話：東京本部03-3346-1756）

最寄りの連絡先については、上記または1. の窓口にお問い合わせください。

### 内部監査体制

当JAでは、内部監査部門を被監査部門から独立して設置し、経営全般にわたる管理および各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価し、改善事項の勧告などを通じて業務運営の適切性の維持・改善に努めています。

また、内部監査は、JAの本店・支店のすべてを対象とし、中期及び年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は、代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知され、定期的に被監査部門の改善取り組み状況をフォローアップしています。

また、監査結果の概要を定期的に理事会に報告することとしていますが、特に重要な事項については、直ちに理事会、代表理事組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

## 自己資本の状況

### 自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成28年3月末における自己資本比率は、13.68%となりました。

### 経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は組合員の普通出資によっています。

○普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	つがる弘前農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に参入した額	4,873百万円（前年度4,948百万円）

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。



## 主な事業の内容

### ● 主な事業の内容

#### (信用事業)

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務といわれる内容の業務を行っています。

この信用事業は、JA・信連・農林中金という3段階の組織が有機的に結びつき、「JAバンク」として大きな力を発揮しています。

#### ◇ 貯金業務 ◇

組合員の方はもちろん、地域住民の皆様や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。普通貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

#### 【主な貯金商品一覧】

商品名	特 色	預入期間
普通貯金	いつでも、お預入れ・お引き出しが自由な商品です。また、各種公共料金等の自動支払、給与・年金のお受取り口座としての機能を備えると、毎日の暮らしの「お財布がわり」としてご利用いただけます。	出し入れ自由
貯蓄貯金	お手持ちの資金を有利に増やしながらか、必要な時にいつでも引き出せる貯金です。残高10万円以上から残高に応じて4段階の金利が適用されますので有利さと便利さを兼ね備えた商品です。	出し入れ自由
通知貯金	まとまった資金の短期のご利用に便利な貯金です。	7日以上
総合口座	普通貯金の全ての機能を備えているのに加え、定期貯金をセットすることで、定期貯金合計額の90%（最高500万円）まで自由融資も可能となりご利用になれます。	出し入れ自由
定期積金	毎月一定額を積み立てすることにより、生活設計に合わせた無理のない資金づくりができます。	6ヵ月以上60ヵ月以下・120ヵ月
期日指定定期貯金	便利さを備えた定期貯金です。期間は1年間据え置き後最長3年で、1年ごとの複利計算となります。1ヵ月以上前の連絡により、自由に元金の全部または一部の満期日の指定が可能です。	1年以上3年までの間で、1ヵ月以上前の連絡により自由に満期日の指定ができます。
スーパー定期貯金	ボーナスや分散されている貯金などをまとめてお預け入れするのに便利な商品です。お預けいただく金額および期間に応じてよりおトクな金利となります。3年以上のお預けの個人の場合、複利型がご利用できます。	1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。
大口定期貯金	1,000万円以上のまとまった資金の運用に適した定期貯金です。法人および団体でのご利用はこちらでお預かりいたします。金利はお預けいただいた時点の金利情勢で決定され、満期まで変わりませんので安心です。	1ヵ月以上10年までで満期日指定が可能です。

## 主な事業の内容

### ◇ 貸出業務 ◇

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆様の生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域の皆様の暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業等、農業以外の事業へも必要な資金を融資し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。さらに、個人向けローンも取り扱っております。

### 【主な貸出金商品一覧（農業関連向けご融資）】

資金の種類	お使いみちなど	ご融資金額	ご融資期間
アグリマイティー資金	農業生産、農産物の加工・流通・販売等に関する設備資金や運転資金にご利用いただけます。	必要額以内	原則 10年以内
農機ハウスローン	農機具のご購入、修理費用など、および他金融機関の農機具ローンのお借換え、パイプハウス等資材、建設費用などにご利用いただけます。	1,800万円以内	1年以上 10年以内
農業近代化資金	設備資金から運転資金まで様々な資金使途に利用できる長期・低金利の制度資金です。	個人：1,800万円以内 法人・集落営農組織等 ：2億円以内	原則 15年以内
制度融資	農業経営改善促進資金など、各種制度資金をお取り扱いしております。		
受託貸付	日本政策金融公庫（旧農林漁業金融公庫や就農資金）の各種資金をお取り扱いしております。		

### 【主な貸出金商品一覧（個人向けご融資）】

資金の種類	お使いみちなど	ご融資金額	ご融資期間
住宅ローン	住宅の購入資金（土地のみの購入も含む）・新築・増改築・中古住宅の購入及び既にお借入の住宅資金の借換えなどにご利用いただけます。	10万円以上 5,000万円以内	3年以上 35年以内
リフォームローン	既存住宅の増改築・改装・補修等、およびその他住宅に付帯する施設などの住宅関連設備資金としてご利用いただけます。	10万円以上 1,000万円以内	1年以上 15年以内
フリーローン	使いみちはご自由です。 ただし、負債整理資金などは除きます。	1万円以上 300万円以内	6ヵ月以上 5年以内
マイカーローン	自動車・バイク購入（中古を含む。）点検・修理・車検、購入に付帯する諸費用、共済掛金に必要な資金としてご利用いただけます。	1万円以上 1,000万円以内	6ヵ月以上 10年以内
教育ローン	就学（予定）子弟の入学金・授業料・学費および下宿代など教育に関する資金としてご利用いただけます。	1万円以上 1,000万円以内	最長15年6ヵ月の 範囲内
カードローン	限度額の範囲内で自由にお使いいただけます。	極度額50万円以内 (10万円単位)	原則として、 審査のうえ 自動更新

## 主な事業の内容

### ◇ 為替業務 ◇

全国の J A ・ 信連 ・ 農林中金の店舗をはじめ、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網と結び、当 J A の窓口を通して全国どこの金融機関へでも振込や送金、手形・小切手等の取立が安全で確実かつ迅速にできます。

### ◇ その他の業務およびサービス ◇

当 J A では、コンピュータ・オンラインシステムを利用して、各種自動受取・支払や事業主の皆さまのための給与振込サービス、自動集金サービスなどを取り扱っています。

また、国債（新窓販国債、個人向け国債）の窓口販売の取り扱い、国債の保護預かり、多くの金融機関でご利用いただけるキャッシュサービスなどいろいろ取り揃えております。

さらに J A カード会員になりますと、カードショッピング・キャッシングなど多機能にわたってのサービスをご利用いただけます。

### 【各種サービスの内容】

種 類	サービス内容や特徴
内国為替サービス	全国どこの金融機関にも、お振込、ご送金、お取立を行っております。
J A キャッシュサービス	キャッシュカードがあれば、全国の J A ・ 信連 ・ 農林中金 ・ 銀行 ・ 信用金庫 ・ 信用組合 ・ 労働金庫 ・ ゆうちょ銀行 ・ セブン銀行 ・ コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット） A T M（現金自動預払機）で現金のお引出しと残高照会がご利用いただけます。また、全国の J A ・ 信連 ・ 農林中金 ・ ゆうちょ銀行 ・ セブン銀行、コンビニ（ローソン、セブンイレブン、イーネット）では現金のお預入れもご利用いただけます。さらに県内 J A の A T M ではお引出し、お預入れとも通帳によるお取扱が可能となっております。
給与振込サービス	給与・ボーナスがお客様のご指定いただいた貯金口座に自動的に振り込まれます。余分な現金を持ち歩かずにすみ、振り込まれたご資金は必要な時にお引き出しいただけます。
各種自動受取サービス	各種年金、配当金などがお客様の口座に自動的に振り込まれます。その都度お受取りに出られる手間や、期日忘れや紛失なども防げ安心です。
各種自動支払サービス	電気・電話・水道料・NHK放送受信料等の公共料金のほか、高校授業料、各種クレジット代金など普通貯金（総合口座）から自動的にお支払い致しますので、支払い忘れや支払いの煩わしさがなくなります。
クレジットカードサービス（J A カード）	J A カードは5種類のなかからライフシーンに合わせて選べ、I C チップを搭載した、より安全なクレジットカードです。V I S A ・ N I C O S マークのあるお店ならお買い物、ご旅行、お食事などお客様のサインや暗証番号ひとつでご利用いただけます。24時間年中無休のロードアシスタンスサービス付カードや E T C カードもお取扱しています。J A ならではの特典や各種サービスを満載しており、三菱 U F J ニコス(株)との提携により三菱 U F J ニコス(株)の提供する各種サービスも受けられます。
口座振替サービス	収納企業(委託者)に代わり、口座振替により集金業務を行っております。
A T M 振込サービス	A T M を使用して全国どこの金融機関にも振り込みできるサービスです。振込依頼書に記入する手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。
A T M 振込予約サービス	平日3時以降、土・日曜日・祭日に A T M を利用して、翌窓口営業日に振込を行う振込予約サービスを行っております。
A T M 定期預入サービス	A T M を利用して総合口座定期貯金・通帳式定期貯金・積立式定期貯金の2件目以降の預入ができるサービスです。
J A ネットバンクサービス	全国どこからでもインターネットに接続可能なパソコン・携帯電話等を使い曜日を問わずいつでも残高照会、入出金明細照会、振込・振替予約ができるサービスです。窓口へ出向く手間も省け、手数料も窓口扱いより割安となっております大変便利です。

# 主な事業の内容

## ◎ A T M利用手数料

【当 J A のキャッシュカードまたは通帳をご利用する場合】

金融機関名	取引区分	平日			土曜日			日曜・祝日・年末
		8:00～8:45	8:46～18:00	18:01～21:00	8:00～9:00	9:01～14:00	14:01～21:00	8:00～21:00
J A (県内・県外)、 信連 A T M	入金 出金	無料			無料			無料
その他金融機関の提携 A T M	J F マリンバンク	無料			無料			無料
	青森銀行	無料		1 0 8	1 0 8			1 0 8
	三菱東京 U F J 銀行	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8			1 0 8
	ゆうちょ銀行	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8			1 0 8
	セブン銀行	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8
	イーネット・ローソン A T M	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8
	上記以外の提携金融機関	1 0 8		2 1 6	2 1 6			2 1 6
	キャッシング提携会社	キャッシング	無料	無料	1 0 8	1 0 8		1 0 8

※ 青森銀行は、「あすなるネット」表示の A T M が対象となります。

注 1. 上記金額には消費税を含みます。

注 2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。

注 3. 1月3日と5月4日は終日お取扱いできません。(JFマリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱いできません。)

注 4. 稼働時間は A T M により異なります。また、A T M 稼働時間であっても J A バンクのキャッシュカードによるお取引ができない場合およびご利用の金融機関により手数料が異なる場合があります。詳しくはお近くの J A またはご利用 A T M の掲示等でご確認ください。

注 5. イーネット A T M はファミリーマート・スリーエフ・ポプラ等のコンビニエンスストアに設置されています。

注 6. ローソンに設置されているローソン A T M 以外の A T M はサービス内容が異なる場合があります。詳しくはご利用 A T M の掲示等でご確認ください。

注 7. コンビニエンスストア等の一部の店舗において、A T M が設置されていない場合、金融機関が直接 A T M を設置している場合、他 A T M 運営会社の A T M が設置されている場合等があります。「イーネット A T M マーク」「ローソン A T M マーク」をご確認のうえ、ご利用ください。

【その他金融機関のキャッシュカードで、当 J A の A T M をご利用する場合】

金融機関名	取引区分	平日			土曜日			日曜・祝日	年末
		8:00～8:45	8:46～18:00	18:01～21:00	8:00～9:00	9:01～14:00	14:01～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00
J A (県内・県外)、 信連キャッシュカード	入金 出金	無料			無料			無料	無料
その他金融機関のキャッシュカード	J F マリンバンク	無料			無料			無料	無料
	青森銀行	無料		1 0 8	1 0 8			1 0 8	1 0 8
	三菱東京 U F J 銀行	1 0 8	無料	1 0 8	1 0 8			1 0 8	1 0 8
	ゆうちょ銀行	2 1 6	1 0 8	2 1 6	2 1 6	1 0 8	2 1 6	2 1 6	曜日により変動
	上記以外の提携金融機関	1 0 8		2 1 6	2 1 6			2 1 6	2 1 6
	キャッシング提携会社	キャッシング	無料		1 0 8	1 0 8		1 0 8	1 0 8

※ キャッシング提携会社のうち、ご利用いただけるカードは、三井住友、J C B、U C、三菱 U F J ニコスのカードです。

※ セブン銀行発行のキャッシュカードにて、J A の A T M はご利用できません。

注 1. 上記金額には消費税を含みます。

注 2. 祝日には振替休日・国民の休日を含みます。また、1月2日および祝日が土曜日と重なる場合については、日曜日・祝日のご利用手数料となります。

注 3. 1月3日と5月4日は終日お取扱いできません。(JFマリンバンクについては、1月1日～3日、5月3日～5日が終日お取扱いできません。)

注 4. セブン銀行のキャッシュカードで J A の A T M はご利用できません。

注 5. 稼働時間は A T M により異なります。詳しくは J A 窓口またはご利用 A T M の掲示等でご確認ください。



# 主な事業の内容

## ◇ 信用手数料一覧 ◇

振込手数料（1件当り）					
お取扱区分	振込金額	手数料			
		窓口	ATM	ネット バンキング	
当JA本支店あて	3万円未満	無料			
	3万円以上				
県内JAあて	電信扱い	3万円未満	324円	108円	108円
		3万円以上	540円	324円	216円
	文書扱い	3万円未満	324円	—	—
		3万円以上	540円	—	—
系統県外 金融機関あて	電信扱い	3万円未満	432円	108円	108円
		3万円以上	648円	324円	216円
	文書扱い	3万円未満	648円	—	—
		3万円以上	864円	—	—
その他 金融機関あて	電信扱い	3万円未満	648円	432円	324円
		3万円以上	864円	648円	540円
	文書扱い	3万円未満	648円	—	—
		3万円以上	864円	—	—

送金手数料（1件当り）	
お取扱区分	手数料
当JA本支店あて	無料
当JA以外の金融機関あて	648円

代金取立手数料（1件当り）		
お取扱区分		手数料
県内JAあて	普通扱い	432円
	至急扱い	
系統県外 金融機関あて	普通扱い	648円
	至急扱い	864円
その他金 融機関あて	普通扱い	648円
	至急扱い	864円

その他諸手数料（1件当り）	
お取扱区分	手数料
送金・振込組戻料	648円
不渡手形返却料	
取立手形組戻料	

発行手数料	
お取扱区分	手数料
JAカード（一体型）（1枚）	648円
通帳（1冊）	1,080円
証書、契約の証（1通）	
ICキャッシュカード（1枚）	
キャッシュカード（1枚）	
残高証明書等の各種証明書（1通）	432円

両替手数料		
お取扱区分		手数料
1枚～	50枚	無料
51枚～	100枚	216円
101枚～	500枚	432円
501枚～	1,000枚	540円
1,001枚～	2,000枚	756円
2,001枚～	3,000枚	1,080円
3,001枚～	4,000枚	1,404円
4,001枚～	5,000枚	1,728円
5,001枚以上		2,160円
1,000枚毎に	540円追加	

入出金手数料		
お取扱区分	手数料	
1枚～	300枚	無料
301枚～	500枚	216円
501枚～	1,000枚	324円
1,001枚～	2,000枚	648円
2,001枚以上		972円
1,000枚毎に	324円追加	

## 主な事業の内容

### (共済事業)

J A共済は、J Aが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・財産を守る「ひと・いえ・くるま」の各種共済による生活総合保障を展開しています。

### 【主な共済商品の内容】

種 類	共済期間		サービス内容や特徴
終 身 共 済	一 生 涯		万一のときはもちろん、ニーズにあわせた特約により病気やケガなどへの備えも自由に設計ができる確かな生涯保障プランです。
医 療 共 済	一 生 涯 一 定 期 間		病気やケガによる入院・手術を一定期間または一生涯にわたって手厚く保障します。特約でがん入院の保障を手厚くしたり、特約で一定期間の万一保障を確保することもできます。
が ん 共 済	一 生 涯		がんと闘うための安心を一生涯にわたって手厚く保障します。すべてのがんのほか、脳腫瘍も対象としています。
介 護 共 済	一 生 涯		公的介護保険制度と連動して幅広い要介護状態（要介護2～5）等、介護の不安に一生涯備えられる保障です。
年 金 共 済	一 生 涯 一 定 期 間		老後の生活資金準備のためのプランです。医師の診査なしの簡単な手続きでご加入できます。また、最低保証利率が設定されているので安心です。
養 老 生 命 共 済	年満期	5～30年	万一のときの保障と、将来の資金づくりを両立させたプランです。特約により病気やケガなども幅広く保障します。
	歳満期	50～88歳	
こ だ も 共 済	0～22歳		お子様の入学資金や結婚・独立資金の準備に最適なプランです。共済契約者（親）が万一のときは、満期まで毎年養育年金を受け取りになれるプランもあります。
建 物 更 生 共 済	5～30年		火災はもちろん、地震や台風などの自然災害も幅広く保障します。また、満期共済金は、建物の新築・増改築や家財の買替資金としてご活用いただけます。
自 動 車 共 済	相手方への対人・対物賠償をはじめ、ご自身・ご家族などの傷害保障、車両保障など、万一の自動車事故を幅広く保障します。		
自 賠 責 共 済	法律ですべての自動車に加入が義務付けられている、人身事故の被害者保護のための保障です。		
傷 害 共 済	日常のさまざまな災害による万一のときやケガを保障します。		

### (指導事業)

おいしく安全性の高い農産物（りんご・お米・やさいなど）を栽培していただくために、アドバイスや相談を受けております。また、皆さまの暮らしと健康を守るため、各種健康診断や、高齢者福祉活動を行っています。

### (購買事業)

農業に必要な肥料・農薬・飼料などの生産資材や、暮らしに必要な食品・日用品などの生活資材を供給しています。また、農機具・自動車の販売、給油スタンドも行っています。

### (販売事業)

出荷者の皆様が栽培した農産物（りんご・お米・やさいなど）や、畜産物の集荷・販売を行っています。

### (直販・利用事業)

会員の皆さまが栽培したやさい・果実を、4店舗の直売所にて販売しています。また、育苗施設では優良・均質なやさい苗を供給しています。

## 主な事業の内容

### ● 系統セーフティネット（貯金者保護の取り組み）

当JAの貯金については、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットで守られています。

#### ◇ 「JAバンクシステム」の仕組み ◇

JAバンクとは、全国のJA・信連・農林中央金庫（JAバンク会員）で構成するグループの名称です。

組合員・利用者の皆様に、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「JAバンクシステム」を運営しています。

「JAバンクシステム」は、「破綻未然防止システム」と「一体的事業推進」を2つの柱としています。

#### ◇ 「破綻未然防止システム」の機能 ◇

「破綻未然防止システム」は、JAバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。

再編強化法（農林中央金庫及び特定農業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）に基づき、「JAバンク基本方針」を定め、JAの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりもさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備など）を設定しています。

また、JAバンク全体で個々のJAの経営状況をチェックすることにより適切な経営改善指導を行います。

#### ◇ 「一体的な事業推進」の実施 ◇

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業推進の取り組みをしています。

#### ◇ 貯金保険制度 ◇

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。